

釣れ釣れなるままに

1991年思い出の釣行記

1991年

鹿島釣狂

☆釣行日	平成3年5月25日、26日		
☆入釣場所	雄冬赤岩トンネル入口 岩尾川		
☆釣果	アブラコ	4	
	ガヤ	2	
	アメマス	8	

正面に見える大きな平盤との間が深くなっておりいい具合だがアタリは出なかった。また、平盤の右も良さそうに見えアタリも何度かあったのだが魚の顔を見ることは出来なかった。ブラー釣り、ウキ釣りを試すも反応がない。唯一、10時方向の遠投でアブラコ45cm（自己最身長記録）がでた。

以前、アメマスを釣っていた釣り人を見かけたことがある岩尾川で釣りを試みた。昨年から残っていたイタドリ虫があったので、それを使って釣り上げた。結構なアタリがありアメマスが釣れた。川幅が狭くて3.6mの竿が扱いづらく、用意不足で鉛がなくなり更に上流に遡るのは断念する。熊の心配もあった。



☆釣行日 平成3年6月15日、16日

☆入釣場所 赤岩トンネル入口

☆釣果 アブラコ45cm以下4匹

息子を誘って釣りに行く。21:00まで粘るがアブラコ3匹に終わる。

朝3時頃より同じ場所で釣り始める。4時頃強いアタリがあり、息子に竿を持ってもらいタモで掬い上げた。45cm程のもので、前回と同じ大きさのアブラコだった。

☆釣行日 平成3年7月30日

☆入釣場所 美唄川

☆釣果 ニジマス 28

ヤマベ 1

美唄母子釣り大会

美唄ダムの下流で母子釣り大会が開催されると同僚から聞いた。娘（小学2年）とその友達を誘って釣りに行くことにした。母ではなく父なので大会には参加できなかった。

10:00～13:30 釣り大会

14:00 大会が終わったので釣り始める。25cm～28cmのニジマスが次々と掛かる。一時食いは治まったがダム下でニジマスのつかみ取り大会が始まりその魚が逃げ出し

てくるのか、また釣れ始めた。31cmのヤマベがかかった。

16:00頃、つかみ取り大会用の土嚢を崩し始めたので川が濁り全く釣れなくなった。16:30に帰った。魚の半分は娘の友達に持たせた。

☆釣行日 平成3年8月1日
☆入釣場所 美唄川
☆釣果 ニジマス 5

娘と一緒につり大会の残りのニジマスを狙って美唄川に行った。

☆釣行日 平成3年8月31日
☆入釣場所 千代志別川 浜益海水浴場
☆釣果 釣果なし

ヤマメやシャケを狙ったが全く釣れず。

☆釣行日 平成3年11月〇日
☆大会場所 井寒台～様似港
☆入釣場所 鶉苫
☆釣果 カジカ 1
ハゴトコ 3
ドンコ 1
☆成績 14位

カナダ屋釣具店に岩見沢釣遊会第7回大会の案内があった。岩見沢に住居を構えて2年を過ぎようとしているが、一度は磯釣り大会に参加してみたいと思っていたところだ。カナダ屋が事務局になっているらしくすぐに申し込んだ。

期待に胸膨らませてカナダ屋に行くと、早い内から会員が集まっていた。もちろん誰も知っている者はおらず寂しい思いをしていると、後ろの座席に座っていた前野氏が話しかけてくれた。しかも、釣り場がよく分からないというと、一緒に鶉苫に下りましょと誘ってくれた。大変有り難い。付いていくと鶉苫川河口で下りて、右の方に進んで行った。今は干潮なので、一番前に突き出たところにある平盤が打ちやすそうなので乗ってみたがまもなく潮が混んでくるので無理なようだ。更に先に進んで前野氏が荷を下ろした右に竿を構えることにした。

潮が混んできて少しずつ後ろに下がりながらの釣りだった。ガチャガチャの岩場で根掛かりも多くて難しかったが、35cmほどのカジカを取り込んだ。前野氏がアブラコを狙う



と川の方に向かった。私も湾洞で沖に見えるサラシ岩に向かって遠投を掛けるが、ハゴトコのみが終わった。帰り際に前野氏からゴロネット仕掛をいただいた。

審査では見たこともない大きなカジカがゴロゴロと出てきた。1位は井寒台で大きなカジカを釣った人だった。3位は幌島で大きなアブラコを釣った人だった。

